

6-7. 往復・循環物流の推進

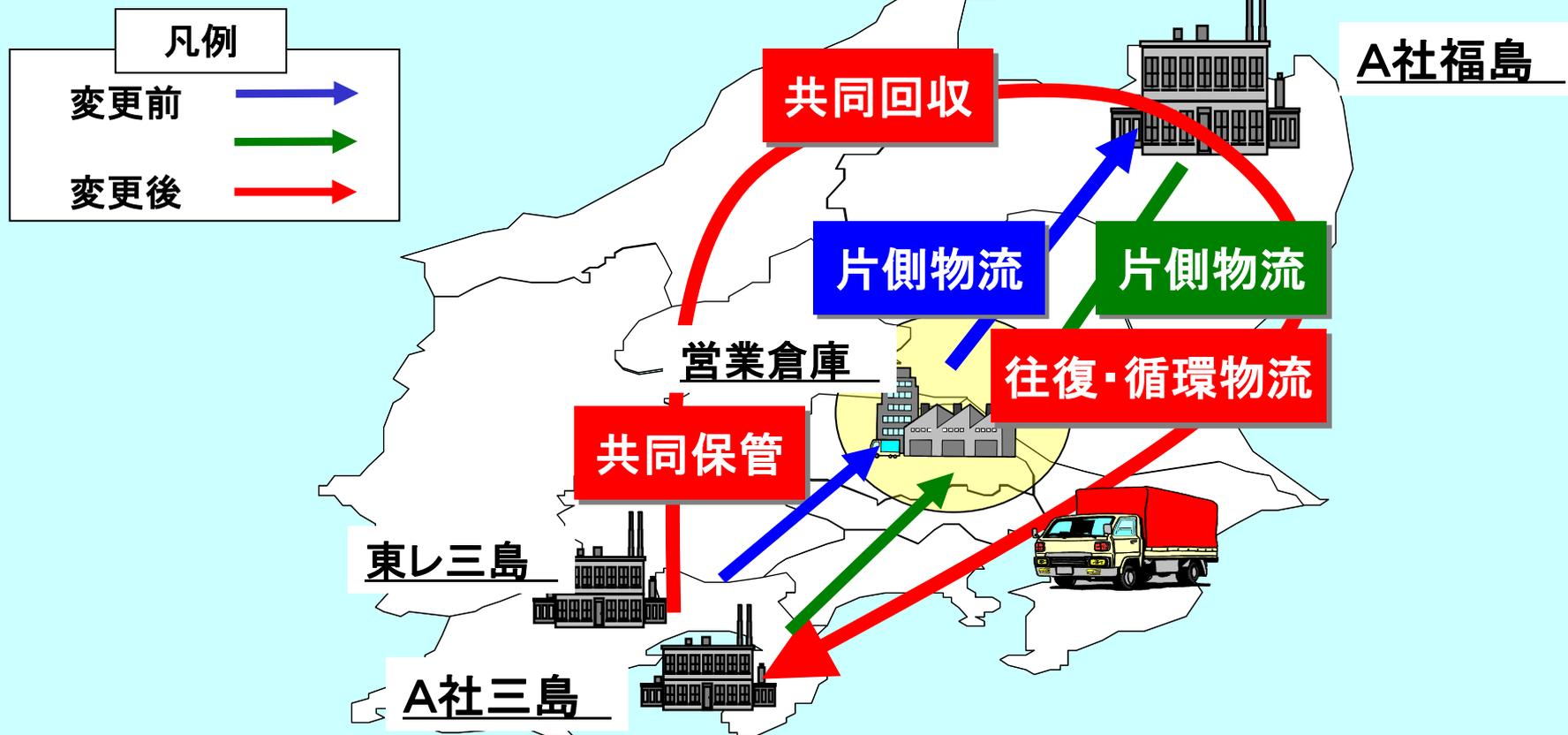


共同保管

共同回収

共同輸送

<例：関係会社A社との往復・循環物流>



運輸費削減（'07-08計）=▲1.5億円

既成概念

固定観念

思い込み

・国内物流は、東レ主体

・輸出入は、商社主体

・輸出入港＝東京・大阪港主体

・既存取引先優先の運営

・新規取引先＝品質・与信リスク

・お客様と物流連携するという発想

・事業部に対する“遠慮＝壁”

改革のキーワード

発想の転換

東レGの連携

環境物流

グローバル物流

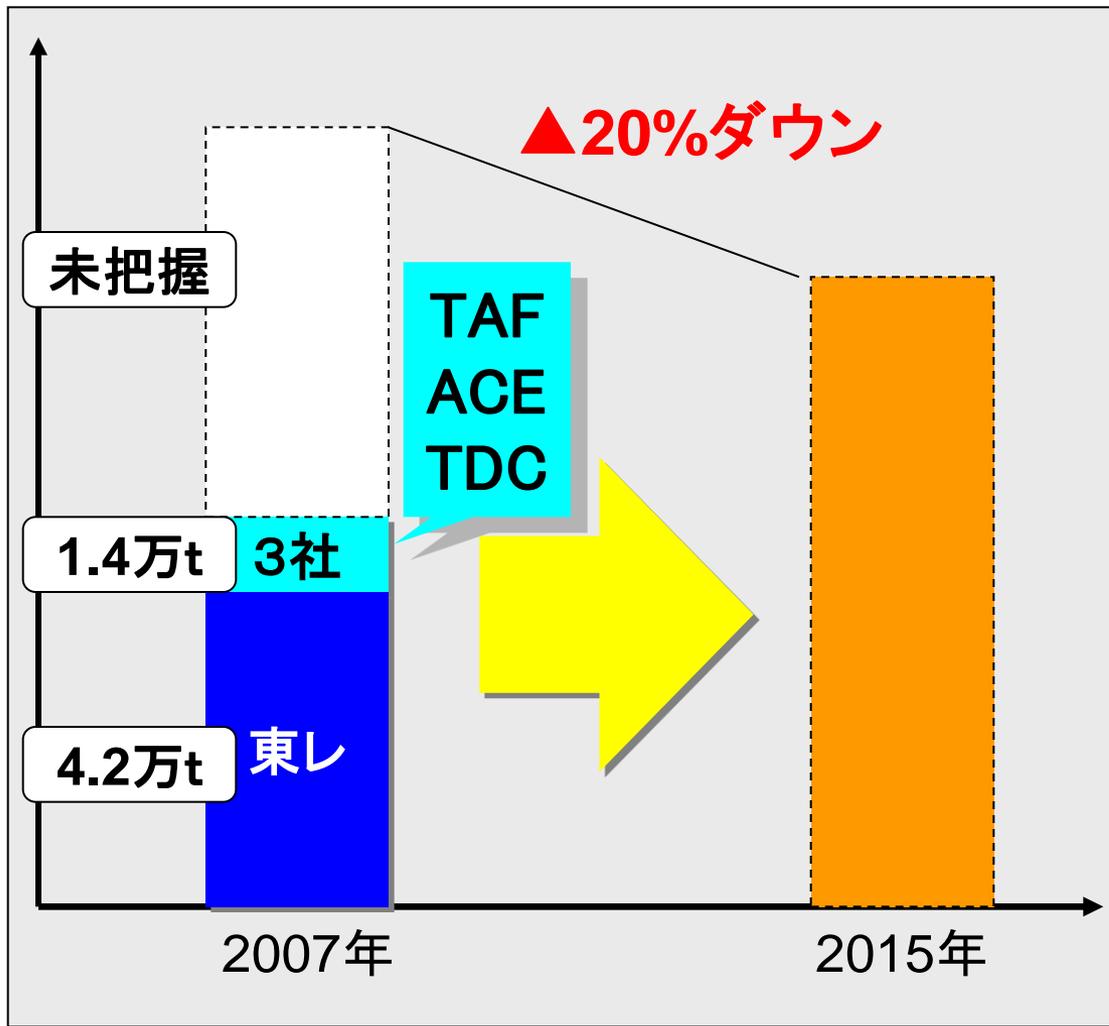
更なる飛躍のために

連結での
環境規制対応

物流システム基盤の
再構築

物流専門家の
育成と確保

<東レグループのCO2排出量削減目標>



二酸化炭素排出量の把握

- ・東レ、TAFのみ自動計算

省エネ法対応(CO2削減)

- ・東レ、関係会社3社のみ

連結でCO2削減

環境対応のための“物流基盤の整備”が急務